

歴史文化基本構想の概要

篠山市内に残る城下町や宿場町、農村集落、旧街道沿いに残る街道集落、またこれら街道や集落周辺に広がる豊かな農産物を生みだす田畑や山林などの自然風景等の「日本の原風景 篠山」の構成要素となる文化財を総合的にとらえ、積極的な保存・活用を図り、歴史・文化を活かしたまちづくりを進めていく。

観光拠点形成の方向性

- ・重伝建地区である福住地区を観光拠点として整備する
- ・京都を訪れる観光客を篠山に誘引する仕組みづくりを行う

観光に関する課題

- ・外国人観光客向けの看板やパンフレット類の拡充
- ・市内を周遊できる観光ルートの開発
- ・周辺地域との連携

事業概要

古地図散歩が出来るWebページの開発

古地図を表示してまち歩きが出来るWebページを開発する。平成29年度は保有している古地図についての調査を行い、古地図の専門家や古地図を表示できるWebページの開発業者との協議を実施した。

KPI アプリ・ダウンロード数：0件(H28)→19,000件(H31)

情報
発信



西京街道ツアーモニターの実施

京から篠山を通じて山陰道へ続く西京街道を活用して、京都市発着のバスで福住地区から篠山城下町までを観光するツアーモニターを実施した。参加者の半数以上は外国人であり、英語通訳のガイドが同行した。

KPI ツアーモニターの実施数：0件(H28)→9件(H31)

普及
啓発



住吉神社の駐車場整備とトイレの設置

観光拠点として福住地区を整備するため、平成29年度は福住地区の住吉神社駐車場を整備し、トイレを設置した。駐車場は重要伝統的建造物群保存地区にふさわしいカラー舗装を施し、バリアフリー対応のトイレを設置した。

KPI 駐車場の利用台数：500台(H28)→3,000台(H31)

活用
整備



住吉神社「住之江の庭」の再生と活用

住吉神社にある名作庭家重森三玲が手がけた「住之江の庭」を観光拠点として再生・活用するために、一般市民を対象として「住之江の庭」の知識や技術を学ぶ。平成29年度は講演会とワークショップを開催した。

KPI ワークショップの参加人数：0人(H28)→30人(H31)

人材
育成



成果

① 文化財の保存・活用への理解の深化

「住之江の庭」に関する講演会とワークショップを行い、その内容をまとめた報告書を参加者に配布することで、文化財の保存・活用への理解をより深めることができた。

② メディア発信による地域の関心の向上

ツアーモニター事業と「住之江の庭」の事業が3紙の新聞で紹介され、地域の文化財の保存・活用への関心が高まり、今後は地域における自発的な保存・活用が期待される。

篠山市【兵庫県】 歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



関西地方

■協議会メンバー…
福住地区まちづくり協議会／福
住まちなみ保存会／住吉神社／
篠山市教育委員会事務局文化財
課

■構想策定年度…
平成二十三年三月
■補助事業期間…
平成二十九年九月一日
平成三十一年三月三十一日